

JRひがし労仙台 業務部情報

2020年5月14日

N O , 0 7 3

JR東労働組合仙台地本業務部

発行責任者：横山裕介

申26号 新庄運転区で発生した技術指導担当の指定に関する緊急申し入れ

1項：すでに見習い乗務が始まっているにも関わらず、技術指導担当を変更した経緯と理由を明らかにすること。

《回答》本人の適正等を総合的に勘案し、決定することとなる。

(組) このようなことになった経緯と「指定動力車操縦者養成に対する指導基準について」の中の技能講習期間中は原則として変更しないこととあるが根拠はなんなのか。

(会) 新幹線に合格したという事で指導を変更したが、コロナの関係で研修が延期になったことでもう一度やってもらいたいという判断した。一から運転士を育てるので、一旦指定したら、同じ人が教えた方がいいであろうというはある。ただ指導操縦者に指定している人は誰がなっても教えることはできている。

(組) そもそも公募制の試験を受けていて受かる可能性がある人を人選するのが分からないという声がある。

(会) まだ合否が出ていないという部分と指導をやってもらいたいという部分で指定した。日程が厳しくなってしまったことは申し訳ないと思うが、今回の件ではやむを得なかった。

(組) 今後もあり得るという事か。

(会) ゼロとは言えない、試験の合否と重なってしまう事があれば可能性はある。

(組) 新幹線の研修が決まって新たに指導になる人は指導員がやるという声が出ているが本当か。指導員の仕事をしながら指導をやれば本来の仕事が出来なくなると思うが。

(会) まだ指定はしていないし、支社としてそういう決定はしていない。指導員が技術指導担当にはしづらいかと思う。

職場にとって曖昧な部分は改善していく必要性を確認！！

2項：過去に同種事象が存在するのか明らかにし、その際の理由を明らかにすること。

《回答》状況により、個別に判断しているところである。

(会) ケガ等で変わったというはあるが、今回のようなケースはこれまだはないと思う。

(組) 新幹線の合否が決まった後の変更は分かるとしても、その後の変更はする必要がなかったのではないかと考えている。今回は1、2カ月での変更だが、例えば技能試験前に新幹線の研修が始まっていたらどうなのか。見習いの事も考えればこのようなことはするべきでない。

(会) その部分のご意見としては賜る。確かにそういう判断も考えたが、総合的に判断して決定したので、今回はこのように指定したところである。今回みたいな事は申し訳ない部分もあったが、なるべく曖昧ではなく分かりやすいようにやっていきたいと思っているのでご理解いただきたい。

4項：見習い乗務が始まっている段階においては、やむを得ない状況を除いては技術指導担当の変更を行わないこと。

《回答》本人の適正等を総合的に勘案し、決定することとなる。

(組) 見習い期間の途中で変更になった場合、後任者と前任者の連携を密にすればいいという考えなのか。運転士養成に対しての支社の認識としてどうなのか。

(会) 最近では指導操縦者を集めての勉強会等も実施していて、指導操縦者のレベルはそれなりのレベルと認識している。新規運転士からしたら技術指導と一緒にいるというのが一番だと思うが、アクシデントがあった時にある程度のレベルで出来るように教育もしている。

(組) 支社と現場のやり取りで技術指導担当を決めるのはだいたいいつ頃なのか。早めに決めていけば現場が混乱しなかったとは思っているが、コミュニケーションもだが、そういったことも手段として必要では。

(会) 一回で決めるわけではない。その時の状況にもよるが、一カ月二カ月前から話している。確かにそういったことをご意見として参考にはしていきたい。